

ゲームに塾に習い事とイマドキの小学生は夏休みも忙しい。
「朝のラジオ体操」や「海水浴」は親世代より半減。

親世代より図画・工作科目は減少し、
「ドリル」中心の宿題となっているのは『ゆとり教育』の影響か。

頭を悩ます夏休みの宿題は、今も昔も「自由研究」。
夏休みの宿題を手伝う親は半数を超える。

夏休みの宿題は、昔も今も「計画倒れ」がこの世の常。
最終日には「宿題狂想曲」が鳴り響く。

電通リサーチ「小学生の夏休み実態調査」より

この度、株式会社電通リサーチ大阪支社(大阪市北区堂島、取締役大阪支社長 安部 謙)は、関西(2府4県:大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)、関東(1都3県:東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)に居住する「小学生の子どもをもつお父さん・お母さん」を対象に、「小学生の夏休み実態調査」を実施し、その結果をまとめましたので発表させていただきます。

実施期間は2008年9月1日(月)～9月3日(水)、調査手法は電通リサーチのクイックインターネット調査システム「DR919」(DRクイック)を用いた自記式アンケートにより行い、有効な回答を1,000名から得られました。

●【結果のまとめ】 「調査結果の概要」については次ページ以降を参照ください。 ●

1. 夏休みの過ごし方

- ・小学生がこの夏休みにしたことは「家庭用ゲーム機で遊ぶ」ことがトップで83.1%と8割を超える。次いで、「近隣でのレジャー」81.0%、「プールで泳ぐ」75.9%、「家の手伝い」73.0%など。
- ・近隣レジャーなど選択肢が増えたことに加え、習い事・塾通いなど、遊び以外でも多忙の所以だろうか、「海水浴」へ行った人は、親世代に比べて半減。また、コミュニティの結びつきが希薄化しているのか「ラジオ体操」への参加率も半減している。

2. 夏休みの宿題について

(1) 夏休みの宿題の内容

- ・この夏の小学生の夏休みの宿題は、「ドリル(教科別の練習帳)」(81.7%)が最も多く8割を占める。次いで、「日記・絵日記」(64.9%)、「自由研究」(63.5%)、「読書感想文」(61.2%)などが6割を超えている。
- ・親世代に比べると、「日記・絵日記」「読書感想文」の比率が減り、「ドリル」の比率が高まっている。また、図画・工作科目の減少も目立ち、総量も減っている点は『ゆとり教育』の影響だろうか。

(2) 自由研究のテーマ

- ・自由研究は「観察記録」が最も多く、4分の1の人がテーマとして選んでいる。次いで「工作・手芸・絵画」、「社会研究」の順となっている。事前課題として減った図画・工作科目は、「自由研究」で選ぶ小学生が増えているようだ。

(3) 最も苦労した夏休みの宿題

- ・夏休みの宿題で最も苦労したものは「自由研究」(26.1%)を挙げた人が最も多く、「読書感想文」(22.4%)が、それに続く。
- ・親世代、子ども世代でも苦労した宿題は似通っており、ほぼ同様の傾向を示している。

(4) 親に手伝ってもらった夏休みの宿題

- ・親が手伝った宿題では、最も苦労した宿題でもトップを占めていた「自由研究」が27.5%と3割近くに達する。次いで、「工作」(19.4%)、「読書感想文」(13.0%)の順で、何らかの宿題を手伝った親は56.2%と5割強を占めている。

(5) 夏休みの宿題を仕上げた時期

- ・開始前の予定では「毎日コツコツ」(33.6%)、「前半までに」(31.3%)と半数以上が堅実な計画を立てているが、結果として「毎日コツコツ」やったのは7.1%、「前半までに」終えた人は9.4%となっており、計画通り進んだのは4分の1程度に過ぎない。

(6) 子どもに夏休みの宿題をやらせるための工夫

- ・関東では「宿題のネタづくり」のような間接支援型、関西では「一緒に考える」といった直接支援型のサポートが多い。

< お問合せ先 >

info@dentsuresearch.co.jp

【調査結果の概要】

本調査の設計

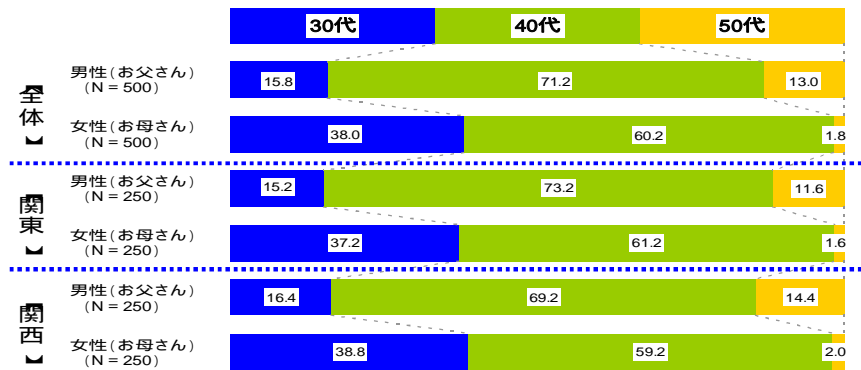
・本調査は、小学生の子どもがいる世帯のお父さんまたはお母さんに、この夏休みの子どもの行動と夏休みの宿題についてアンケートを行いました。小学生の子どもが2人以上いらっしゃる世帯では、年少の小学生の子どもについて回答していただきました。また、父親と母親を均等に半数ずつ回収するように割付を行っています。

・アンケートの項目は、小学生の子どもが夏休みの過ごし方や夏休みの宿題について(内容や自由研究のテーマ、苦労した宿題、親に手伝ってもらった宿題、等々)を質問していますが、対象者(小学生の父母)本人が小学生の頃、どう夏休みを過ごしたか、夏休みの宿題はどうだったかなども、同じ質問形式で併せて回答してもらい、親子の世代間の傾向の違いも分析しています。

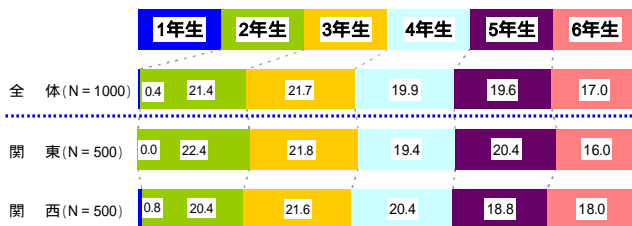
対象者のプロフィール

・対象となった父母の年齢構成、子どもの学齢等のプロフィールは以下の通り。

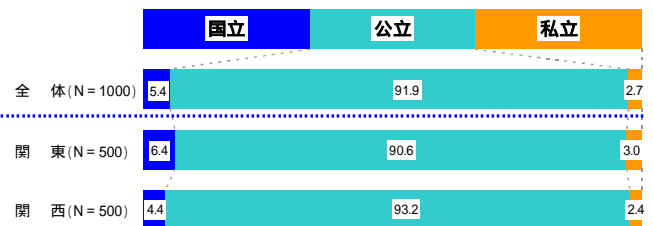
対象者(小学生の子どもをもつ父母)の年齢構成



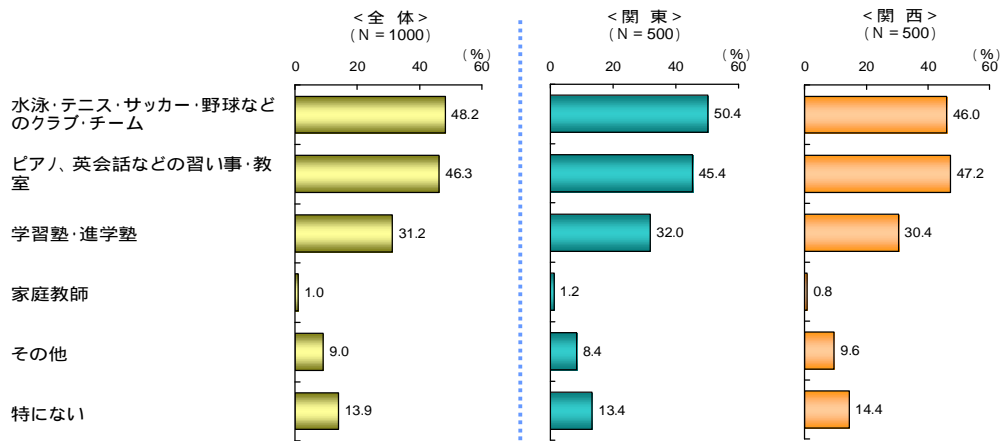
小学生の子どもの学齢構成



小学生の子どもの公立・私立別構成



小学生の子どもの学校以外での活動状況(スポーツクラブや塾・習い事など)

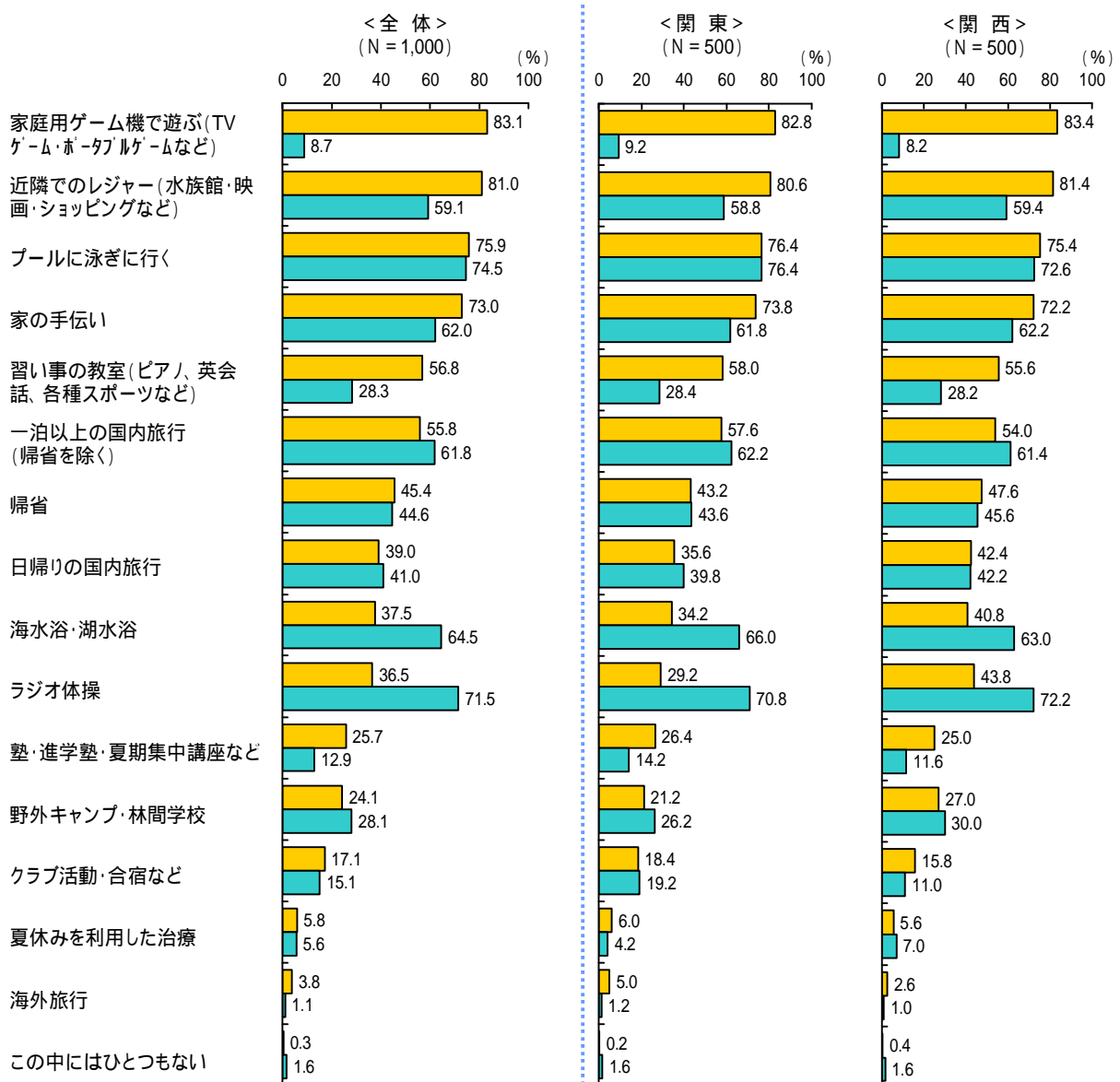


注) 数値は回収数(N)を100とした%

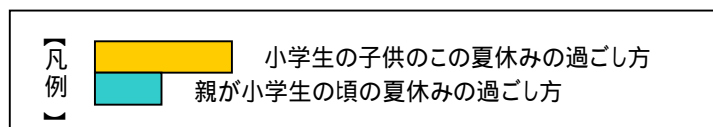
1. 夏休みの過ごし方

ゲームに塾に習い事とイマドキの小学生は夏休みも忙しい。「朝のラジオ体操」や「海水浴」は親世代より半減。

小学生がこの夏休みにしたことは「家庭用ゲーム機で遊ぶ」ことがトップで83.1%と8割を超える。次いで、「近隣でのレジャー」81.0%、「プールで泳ぐ」75.9%、「家の手伝い」73.0%などが上位に挙げられている。
親世代と比べると「海水浴」へ行くことが最近の小学生は減っているようだ。親世代の実施率64.5%に対して小学生の子どもの実施率37.5%とほぼ半減に近い。家庭用ゲーム機や近隣レジャー施設の充実など遊びの選択肢が増えていることに加えて、「習い事の教室」通い(56.8%)、「塾・進学塾」通い(25.7%)など、遊び以外でも多忙の所以だろうか。
また、「ラジオ体操」も親子の世代間格差が大きいもののひとつであり、子どもの実施率は親世代の約半分となっている。地域コミュニティの結びつきが薄れつつある様子も垣間見られる結果である(特に関東地区)。
関東と関西を比較すると、この夏「ラジオ体操」や「海水浴」を行った小学生は、関西では4割を超え、関東に比べるとまだまだ親世代と同様の過ごし方をしている小学生も多いようである。



注) 数値は回収数(N)を100とした%



2. 夏休みの宿題について

(1) 夏休みの宿題の内容

親世代より図画・工作科目は減少し、「ドリル」中心の宿題となっているのは『ゆとり教育』の影響が。

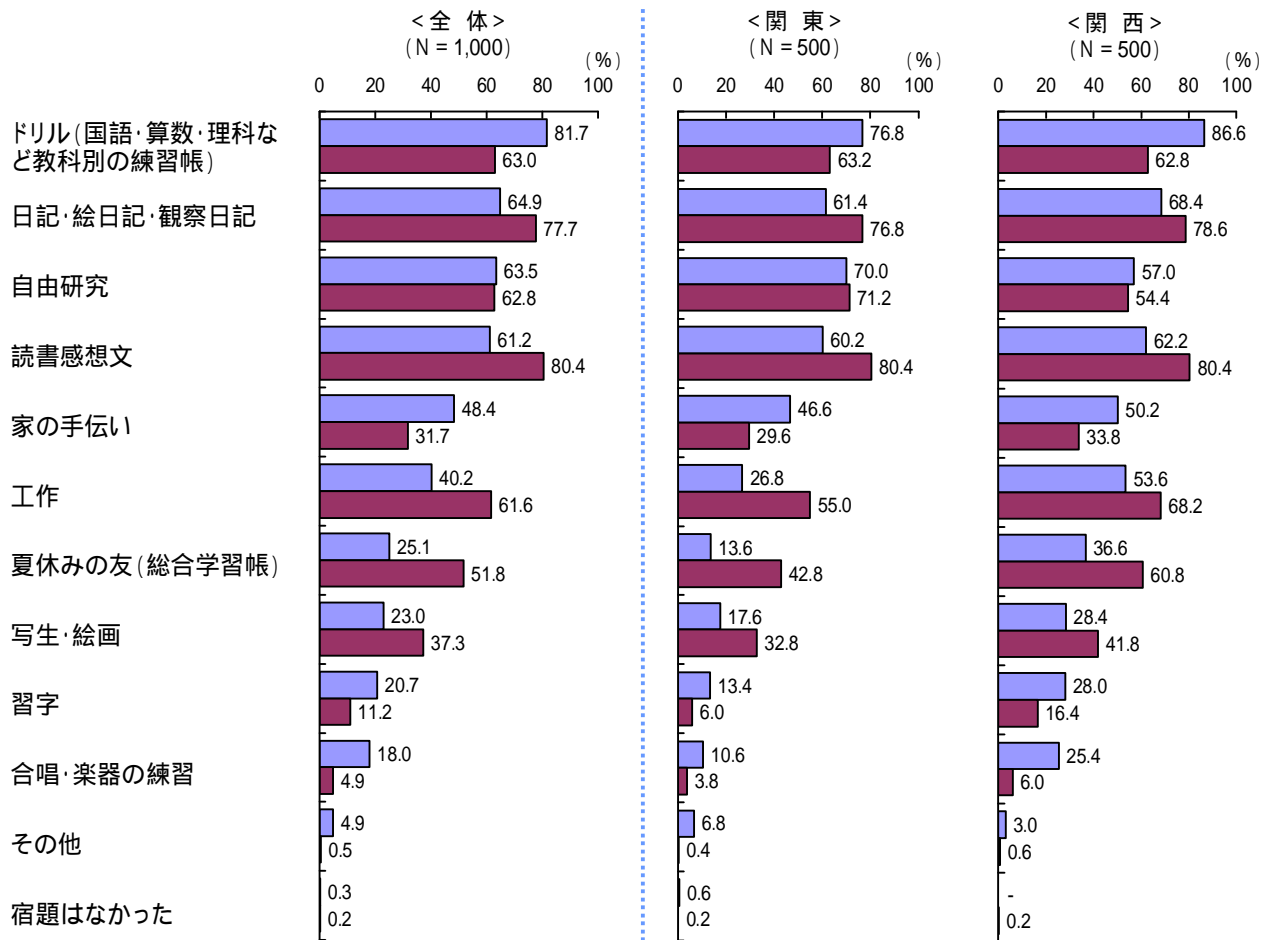
かつての宿題の定番「夏休みの友」は関西で根強く残っている。

この夏の小学生の夏休みの宿題は、「ドリル(教科別の練習帳)」(81.7%)が最も多く8割を占める。次いで、「日記・絵日記」(64.9%)、「自由研究」(63.5%)、「読書感想文」(61.2%)などが6割を超えている。回答個数を平均すると4.52個となるので、1人当たり4～5種類の宿題が与えられているようだ。

親世代に比べると、「日記・絵日記」「読書感想文」の比率が減り、「ドリル」の比率が高まっている。また、「工作」や「写生・絵画」といった図画・工作科目の減少も目立ち、親世代の平均回答個数4.83個に比べると総量も減っている点は『ゆとり教育』の影響だろうか。

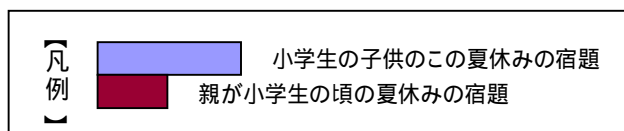
関東と関西を比較すると、関西では「ドリル」の比率が高く、「自由研究」の比率が低いのが特徴的である。また、関西では図画・工作科目や音楽、習字など多岐に渡り、平均回答個数も4.99個と関東の4.04個に比べると総量が多いのも特徴。

かつての夏休みの宿題の定番「夏休みの友」は、関西圏で根強く残っているようだ。



注) 数値は回収数(N)を100とした%

<平均回答個数>	小学生の子どもの夏休みの宿題	親が小学生の頃の夏休みの宿題
全体	4.52	4.83
関東	4.04	4.62
関西	4.99	5.04

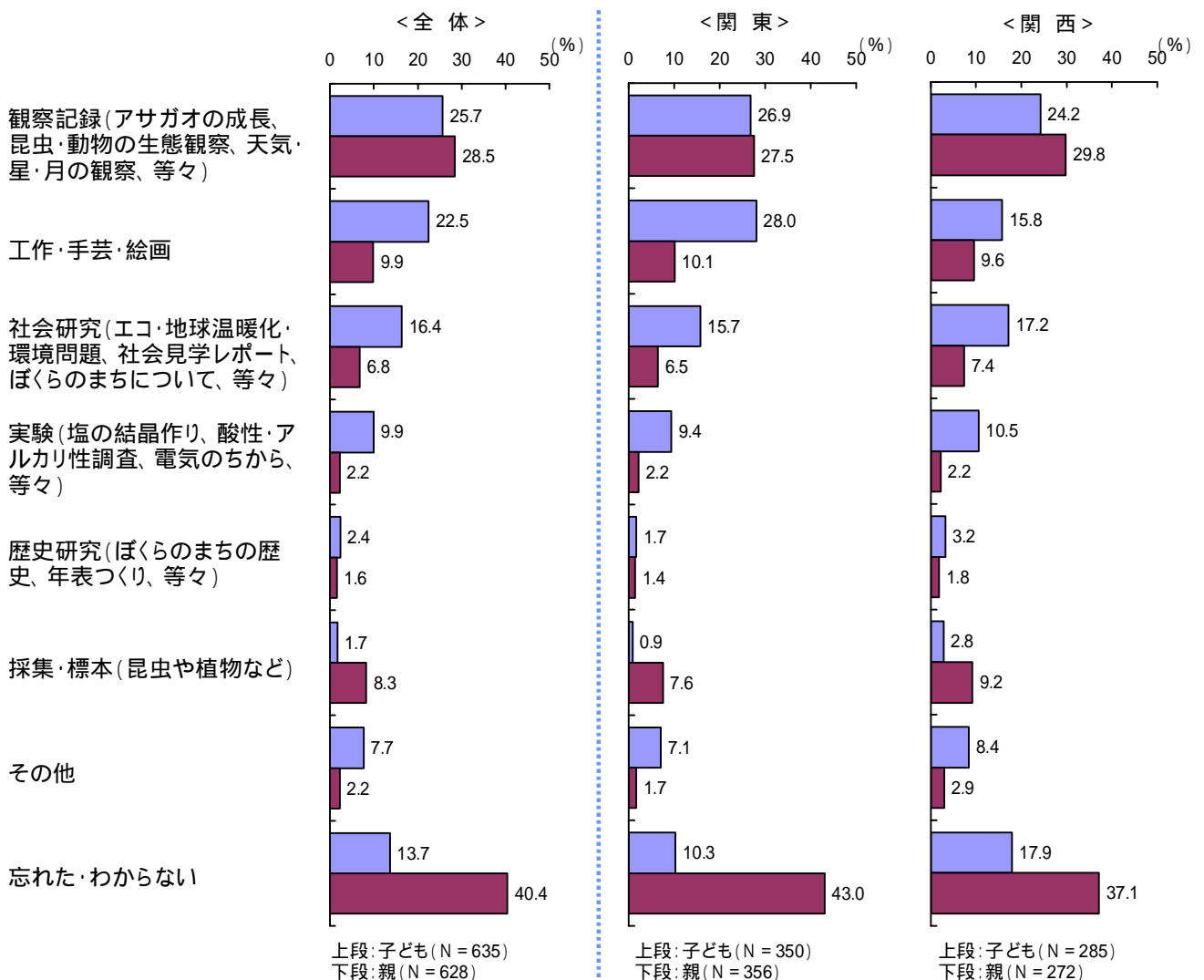


(2)自由研究のテーマ

事前課題で減った図画・工作は「自由研究」のテーマとして選ぶ小学生が増えている。

夏休みの宿題に「自由研究」があった人に、そのテーマ・内容を自由回答で答えてもらった結果を集約すると、「観察記録」が最も多く、25.7%と4分の1の人がテーマとして選んでいる。次いで「工作・手芸・絵画」(22.5%)、「社会研究」(16.4%)の順となっている。事前課題として減った図画・工作科目は、「自由研究」で選ぶ小学生が増えているようだ。

親世代では、1割近くの人が昆虫や植物の「採集・標本」を選んでいるが、この夏にこのテーマを選んだ小学生はごく僅か。虫取り網を片手に一日中セミや蝶を追う小学生の姿は確実に減っているということだろうか。



【凡例】
 ■ 小学生の子供のこの夏休みの自由研究のテーマ
 ■ 親が小学生の頃の夏休みの自由研究のテーマ

注) 数値は夏休みの宿題に「自由研究」があった人(N)を100とした%

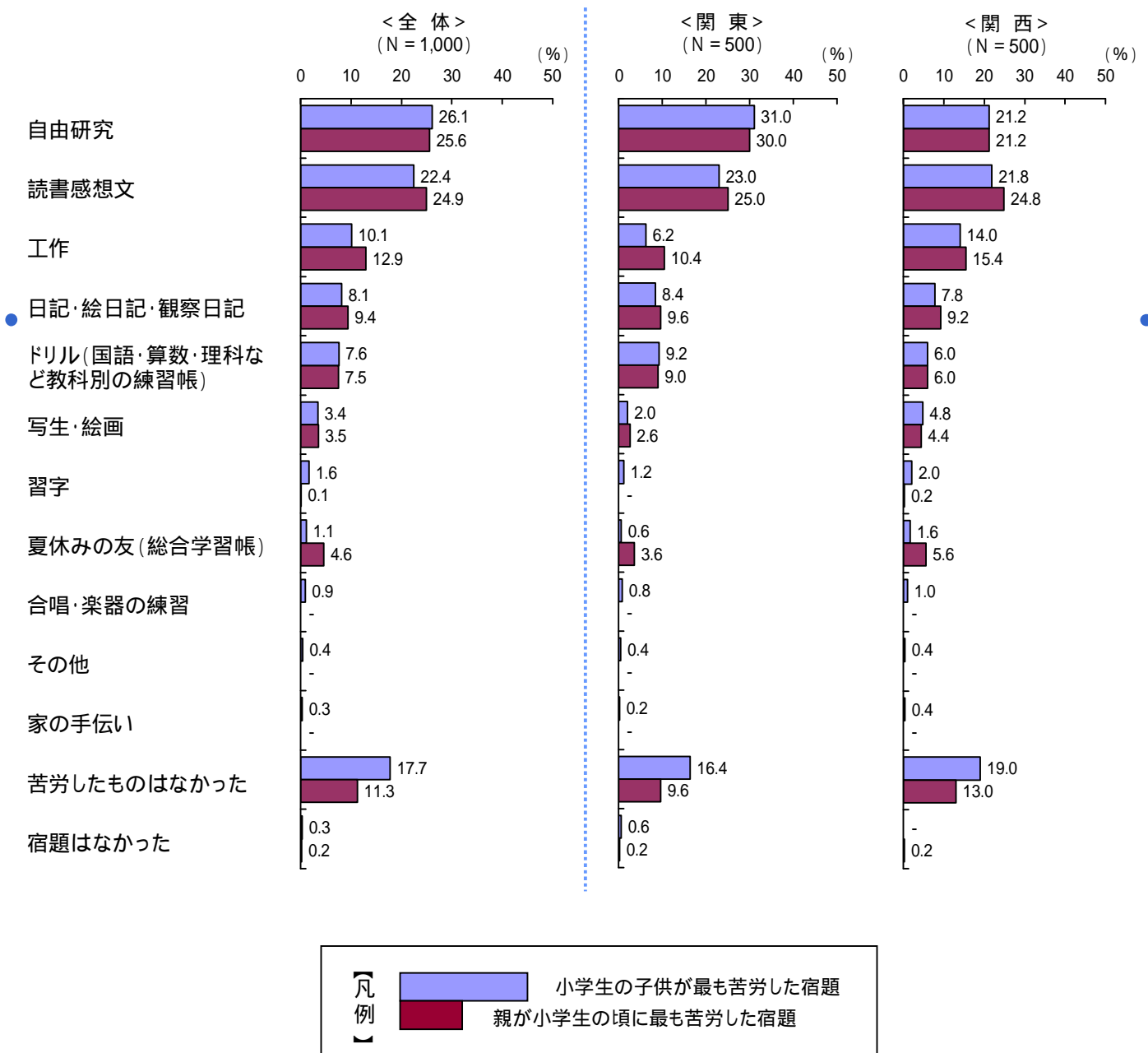
(3) 最も苦労した夏休みの宿題

頭を悩ます夏休みの宿題は、今も昔も「自由研究」。

夏休みの宿題で最も苦労したものは「自由研究」(26.1%)を挙げた人が最も多く、「読書感想文」(22.4%)が、それに続く。

「自由研究」が宿題として比率の高い関東では、「自由研究」を挙げる人が3割を超え多い傾向にある。関西では「工作」に悩む割合が高いのが特徴。

親世代、子ども世代でも苦労した宿題は似通っており、ほぼ同様の傾向を示している。



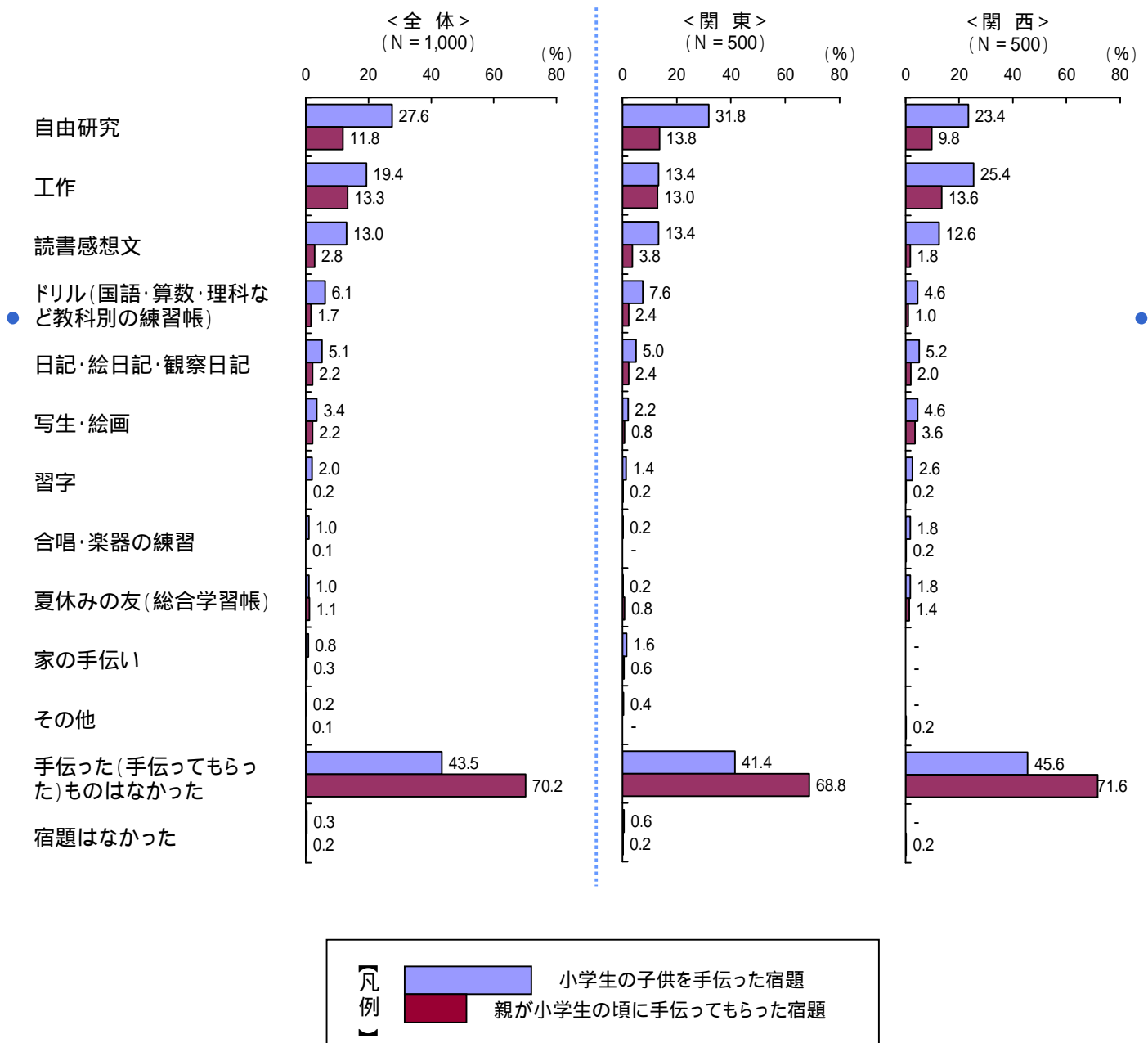
注) 数値は回収数(N)を100とした%

(4) 親に手伝ってもらった夏休みの宿題

夏休みの宿題を手伝う親は半数を超える。

親が手伝った宿題では、最も苦勞した宿題でもトップを占めていた「自由研究」が27.5%と3割近くに達する。次いで、「工作」(19.4%)、「読書感想文」(13.0%)の順で、何らかの宿題を手伝った親は56.2%と5割強を占めている。

一方、親世代の記憶では、自身の小学生の頃には「手伝ってもらったことはない」とする人が7割を占める。「手伝ってもらった」という都合の悪い記憶が消えただけかもしれないが、宿題への親の関与は増加しているようだ。



注) 数値は回収数(N)を100とした%

(5) 夏休みの宿題を仕上げた時期

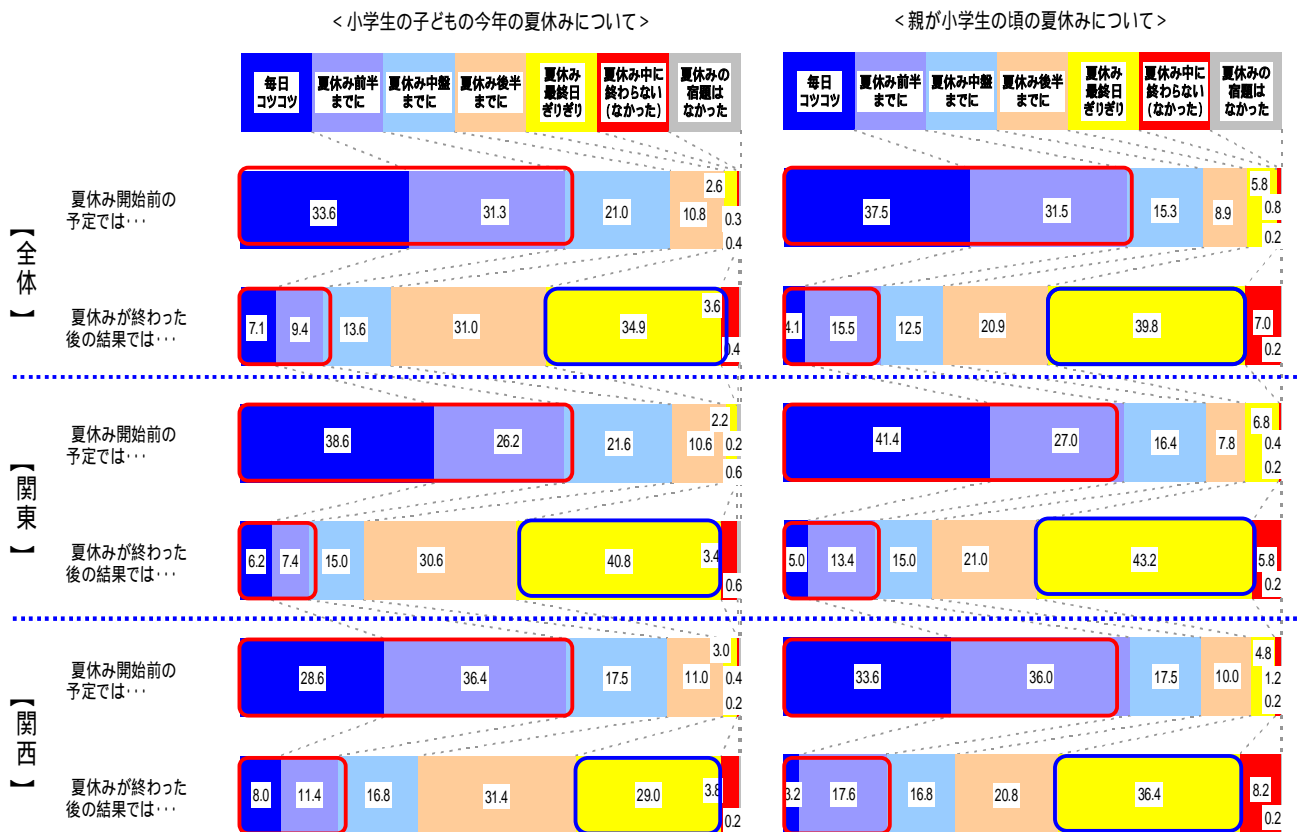
夏休みの宿題は、昔も今も「計画倒れ」がこの世の常。最終日には「宿題狂想曲」が鳴り響く。

夏休みの宿題を仕上げる(仕上げた)時期を、「開始前の予定」と「夏休みが終わった結果」に分けて聞いてみると、開始前の予定では「毎日コツコツ」(33.6%)、「前半までに」(31.3%)と半数以上が堅実な計画を立てているが、結果として「毎日コツコツ」やったのは7.1%、「前半までに」終えた人は9.4%となっており、計画通り進んだのは4分の1程度に過ぎない。計画倒れの多くの方は「夏休み最終日ぎりぎり」になった人で、全体の3割強(34.9%)を占めている。

関東と関西を比較すると、関東の方が予定段階では「毎日コツコツ」型が多く、結果としては「夏休み最終日ぎりぎり」型が多い。

親世代、子ども世代、共に計画倒れの傾向は似通っている。昔も今も、夏休みの最終日は「宿題狂想曲」が多くの家庭で鳴り響いているようだ。

夏休みの宿題を仕上げた時期(予定と結果)



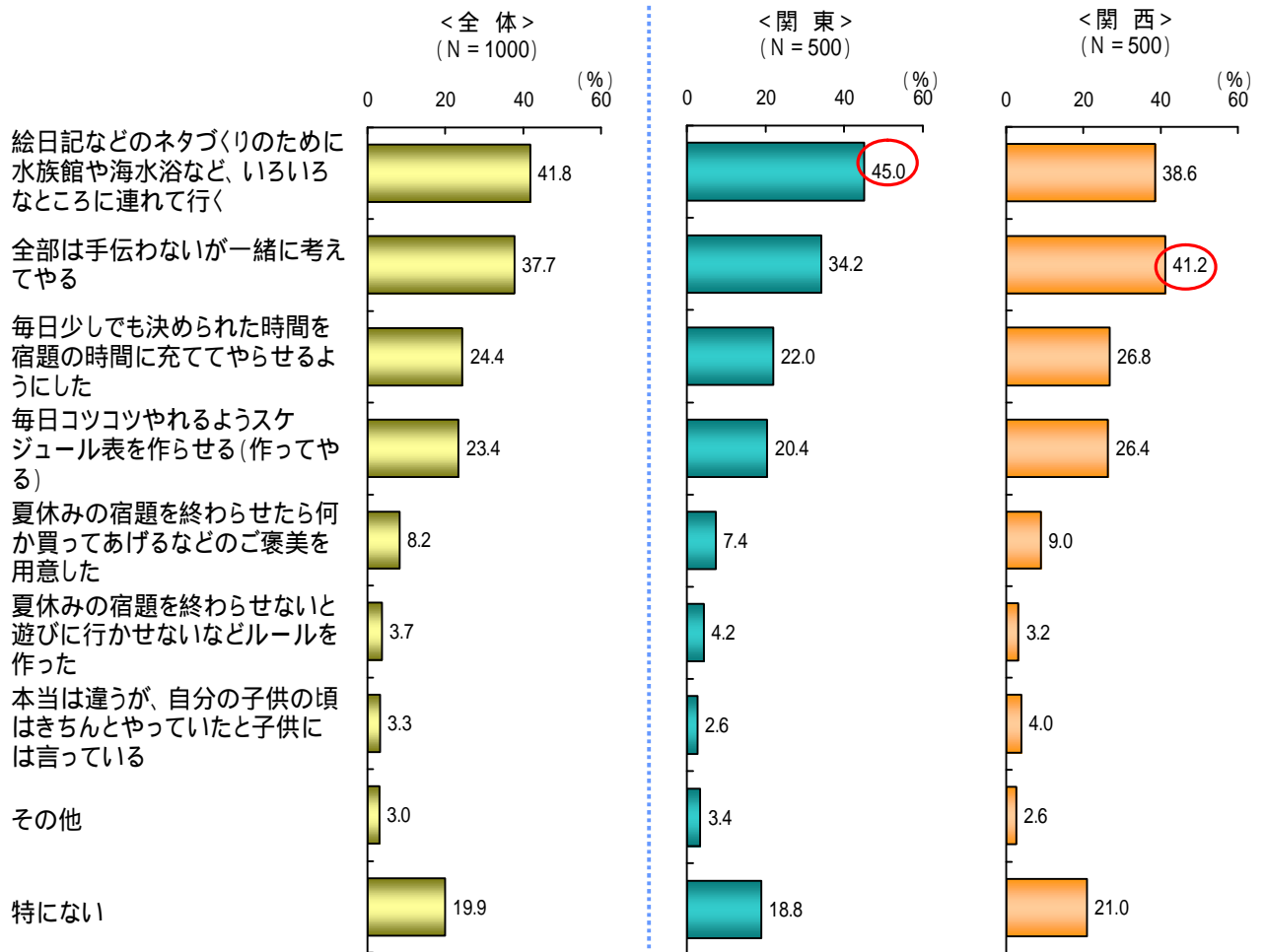
注) 数値は回収数(N)を100とした%

(6) 子どもに夏休みの宿題をやらせるための工夫

関西は直接支援型、関東は間接支援型サポート。

子どもに夏休みの宿題をやらせる工夫として、最も多いのは「ネタづくりに色々なところへ連れて行く」という間接支援型のサポートで、41.8%の人が挙げている。次いで、「一緒に考える」(37.7%)、「毎日時間を決めてやらせるようにした」(24.4%)、「毎日やるようスケジュール表を作った」(23.4%)などの直接支援型のサポートが続く結果となっている。

関東では「ネタづくり」のような間接支援型、関西では「一緒に考える」といった直接支援型のサポートが多い傾向にある。



注) 数値は回収数(N)を100とした%

【今回調査の設計】

調査エリア： 関西（ 2府4県：大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県）
及び関東（ 1都3県：東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）
調査対象： 20歳の男女個人（小学生の子どもをもつ親）
調査方法： インターネットによる対象者自記式アンケート
（クイックインターネット調査システム「DR919（DRクイック）」による）
標本数： 1,000ss回収（関西：500ss、関東：500ss
各エリア 男性〔父親〕250ss、女性〔母親〕250ss
調査期間： 2008年9月1日（金）～9月3日（水）

【「DR919（ディーアールクイック）」について】

「DR919」は電通リサーチが提供する手軽なクイックインターネット調査サービスです。
アンケート内容（html 調査票）の確定から最短24時間で集計結果をお届けすることが可能
です。

● 【「KANSAI MARKET EYES（関西マーケット・アイズ）」について】 ●

「関西マーケット・アイズ」は電通リサーチ大阪支社が、関西エリアの生活者の消費動向や意識に
ついて独自の視点を持って調査の結果を分析し社会や企業に情報発信していこうとするものです。
テーマによっては全国エリアの調査を行うこともありますが、その中心は「関西の市場」に見据え
たエリアデータを関西のメディア各社へリリースしてまいります。

【電通リサーチについて】

電通リサーチは、電通の市場調査部門から独立して1967年の設立以来、電通グループ唯一の
調査会社としてマーケティングリサーチをビジネスドメインの中心に据え、鮮度の高い生活者情
報を収集・分析し顧客にお届けしています。

会社概要

会社名： 株式会社 電通リサーチ
設立： 1967年11月1日
資本金： 3億2,000万円
代表者： 代表取締役社長 野村 清（のむら きよし）
所在地： 東京本社 〒104-8171 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
大阪支社 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-31 ORIX堂島ビル
名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄4-15-32 日建住生ビル
HP： <http://www.dentsuresearch.co.jp>